

2021年度第3回理事会報告

開催日時:2021年9月10日(金) 18:00 ~ 19:55

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局 (Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、木原活信会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて木原会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2021年度第3回理事会」を開催するとの宣言があった。

なお、定款第47条に則り、議事録署名人として木原会長、秋元監事、市川監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より別冊資料に基づき説明があった。審議の結果、18名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2022年度業務委託契約について

総務担当木下理事より、株式会社国際文献社と次年度契約を継続する案が提議され、審議した結果、満場一致で承認された。

第3号議案 「一般社団法人日本社会福祉学会学会賞審査委員会規程」の改定および学会賞審査委員の追加委嘱について

木原会長および総務担当木下理事より学会賞審査委員会規程の改定および学会賞審査委員3名の追加委嘱について説明があった。審議した結果、満場一致で承認された。

第4号議案 「一般社団法人日本社会福祉学会謝金支払い内規」の改定について

総務担当木下理事より、学会ホームページ等の翻訳および翻訳監修への謝金について「一般社団法人日本社会福祉学会謝金支払い内規」に追記することが提議された。審議の結果、満場一致で承認された。

第5号議案 人文社会科学系学協会の相互連絡MLの管理について

総務担当木下理事より、人文社会科学系学協会のメーリングリストの作成について説明があった。

メーリングリストの担当者および管理者を事務局長とすることが提議され、審議した結果、満場一致で承認された。

第6号議案 セーブ・ザ・チルドレン意見広告への賛同依頼および寄付金について

総務担当木下理事より、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンから意見広告への賛同依頼があったとの説明があった。審議の結果、本会は学術団体として中立性および公平性を保つため、政治的または政策的な団体、意見等とは距離を置くが、今回の意見広告のように人権や人間の尊厳にかかわるような人道的な問題に関しては、賛同表明をすることとしていることから、意見広告への賛同が満場一致で承認された。

第7号議案 その他

・地域ブロック運営のための個人情報の取扱いについて

事務局より、地域ブロック運営のために個人情報の提供を求められた際の対応について審議依頼があった。審議した結果、本理事会では結論が出なかったため、次回運営委員会で十分に議論した後、次回理事会にて改めて審議することとなった。

IV. 報告事項

1. 2021年度会員動向

総務担当木下理事より、2021年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 第7期代議員選挙管理委員会からの報告

選挙管理委員会担当の湯澤理事より、配布資料に基づき報告があった。第7期代議員選挙の投票期間は10月14日(木)～28日(木)の予定であることを確認した。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当岩崎理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当柴田理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

和気副会長より、配付資料に基づいて、8月4日にオンライン開催された日中韓三か国会長会議の報告があった。また、韓国社会福祉学会秋季共同学術大会および中国社会福祉研究専門委員会年次総会にて研究発表を希望する会員を募集し、審査した結果、各1名を採択したとの報告があった。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当岩井理事より、今年度の学会賞授賞式は9月11日(土)に第69回秋季大会開会式に引き続いて、オンラインにて執り行うとの報告があった。

7. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当倉田理事より、現在進行中の調査案件はないとの報告があった。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当伊藤理事より、最新号である学会ニュース87号より、英語、韓国語および中国語への翻訳を行う予定であるとの説明があった。また、学会公式Twitterについて、問題なく運用できしており、フォロワー数も少しずつ増加しているとの報告があった。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当空閑理事より、学会誌『社会福祉学』、全国大会資料および写真のデジタル化について報告があった。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当保正理事より、第69回秋季大会にて実施するスタートアップ・シンポジウムの準備状況およびCS-NETの進捗状況について報告があった。

11. 学会のあり方検討会からの報告

室田理事より、今後の会員増減による収支のシミュレーションや、他学会の動向の調査報告等を行う予定であるとの報告があった。

12. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック:2021年6月3日に総会および基調講演をオンライン開催した。また、今冬に研究大会とシンポジウムの開催を予定している。
- ・東北地域ブロック:東北地域ブロック60周年記念事業として記念誌を発刊し、関係各所に送付した。研究大会のオンライン開催を11月6日に予定しており、学会ホームページ上に開催要項や参加申込受付等を掲載している。
- ・関東地域ブロック:機関誌『社会福祉学評論』の編集規程および執筆要項の編集方針等の見直しを行った。また、奨励賞の審査委員会を立ち上げて審査を行っている。今年度の研究大会は2022年3月の開催を予定している。
- ・中部地域ブロック:次回幹事会を9月28日に開催予定である。
- ・関西地域ブロック:第48回若手研究者・院生情報交換会「研究の進め方とその方法」を11月20日に開催予定である。機関誌への論文投稿を8月末で締め切り、査読作業に入るところである。年次大会等の検討を行っている。
- ・中国四国地域ブロック:第18回フォーラムの企画および開催準備を進めている。

- ・九州地域ブロック：定期総会を書面決議により開催した。機関誌『九州社会福祉学』への論文投稿を8月末で締め切り、14本の投稿があった。編集委員会を開催し、査読作業に入る予定である。

12. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

・後援（協賛）依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、1件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

室田理事より、8月31日に運営委員会を開催したとの報告があった。日本社会福祉系学会連合として、早期キャリアにある研究者を対象としたニーズ調査を計画していたが、本会の研究支援委員会が検討している調査案と内容が重複している箇所が多いため、合同調査という形で実施予定であるとの説明があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

報告事項は特になし。

3) 社会政策関連学会協議会

木下理事より、7月24日に会議が開催されたとの報告があった。11月20日午後にはシンポジウム「修論・博論を振り返って」をオンライン開催する予定である。

4) 社会学系コンソーシアム

報告事項は特になし。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会：GEAHSS（ギース）

保正理事より、9月18日に運営委員会を開催予定との報告があった。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

第5号議案にて確認済みである。

議長は、議事終了を告げ、19時55分に理事会を解散した。

以上